



自民党 公認 即戦力

混乱した県政、予算審査も間近。ここは責任政党、西宮市議2期の即戦力でなければ！



吉岡 政和

県政、緊急事態。 ぜひ皆様に、 吉岡の政策を改めて 見て頂きたいのです。

吉岡政和、武者震いするほどの緊張感の中で——ひとつひとつ、自分の取り組んできた政策を、大切にしてきた政策を、そして市会議員の立場ではやりたくても実現しきれなかった政策を、確認し形にする作業を進めています。日々ご支援賜り、また貴重なご意見をいただいている北部地域の皆様に、改めて私の政策をご覧頂き、さらなるご意見を頂戴する機会となれば幸いです。

あの“号泣県議”に端を発する騒動から始まり、兵庫県政、とりわけ西宮のそれは大いに混乱をきたして参りましたが、現職県議の衆院選出馬という事態も重なり、ついに県会議員補欠選挙を行わざるを得ない緊急事態に陥りました。

この補欠選挙で当選する県議の任期は約6ヶ月。**事実上、予算審査が仕事のすべて**といっても過言ではありません。皆様もご存じの通り兵庫県の財政はけして安泰と言える状況ではなく、「**予算をチェックし、その用途が適切であるか判断する**」という議員の**最も重要な役割**を即座に発揮出来る**即戦力**が絶対に必要なのです。いまの兵庫県政は「将来性に期待して未経験の人材に思い切って託してみる」ことが難しい緊急事態にあるのです。

突然の状況に驚かれている皆様も多いかと存じますが、これも兵庫県を襲った緊急事態を解決するためとご理解くださいませ。吉岡政和へとなお一層のご支援、よろしくお願い申し上げます。

政策討議資料

吉岡政和 プロフィール

- 昭和49年6月17日生まれ
- 西宮市立生瀬小学校卒業
- 西宮市立塩瀬中学校卒業
- 西宮市立西宮高等学校卒業
- 近畿大学商経学部経営学科卒業
- 平成11年4月より、中山正暉建設大臣(当時)の下で政治を学ぶ
- 平成19年4月、西宮市議選挙において4,041票を獲得し初当選(45名中6位)
- 平成19年 西宮市議会 総務常任委員会 副委員長
- 平成22年 西宮市議会 建設常任委員会 委員長
- 平成23年4月 西宮市議会議員選挙 2期目当選

経験してきた政治は
責任政党・自由民主党の
まさにエッセンス。
力強さと安定感を兼ね揃える。
いま県政に必要な、**即戦力。**

医療

兵庫県保健医療計画の“医療圏域”という言葉をご存じでしょうか。医療政策を行うために定められている区域のことで、ここ西宮市は全域が「阪神南」医療圏域に属しています。

ここで、ん？ と思った貴方はするどい。そう、**西宮市全域が「阪神南」**。西宮市の北部も南部もひとくくりに、「阪神南」として**くられている**のです。実際のところ、北部の皆さんにとって身近なのは宝塚市や三田市などの医療機関ではないでしょうか？ ある時期の統計ですが、**西宮北部地域に救急車が出動した際、南部の病院へ搬送されたケースはわずか2%**しかなかったなどという数字もあります。こんな状況で、西宮市全体を「阪神南」とくくって医療政策を進めているのです（ちなみに宝塚市や三田市は医療圏域「阪神北」です）。



政策を語る。やはり政治家はその政策の中身、実現可能性、わかりやすさ——などを有権者の方にきびしく評価されて成長するのです。

この生活圈と噛み合わないチグハグな医療圏域の設定が市全体の市医療施策にも悪影響を与えています。また**北部地域の悲願である地域の公共医療機関設置も、この医療圏域が影響していると考えます**。医療圏域問題を解決し、北部の医療環境を改善すれば市全体の医療政策にも好影響を与えられるのです。

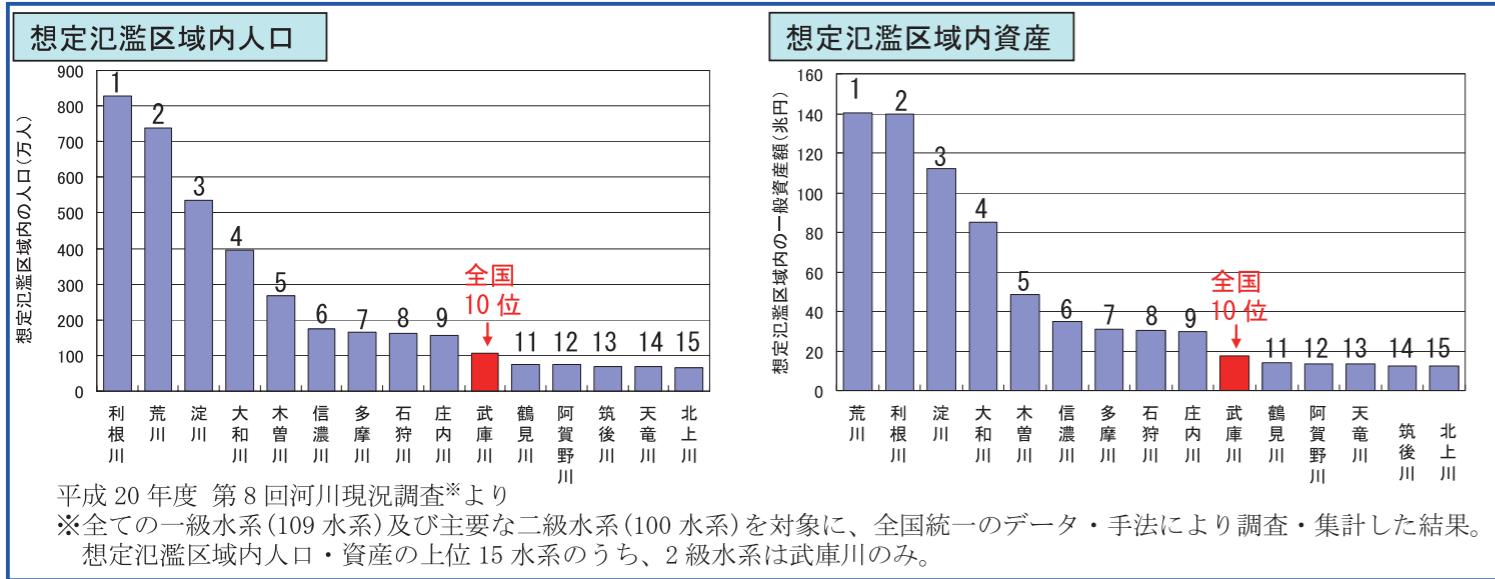
そして、こうした問題は、やはり西宮市議会で行き届くには限界があります。県政の枠組みで、ぜひとも取り組むべき問題です。

防災

防災といえば地震・津波、特に南海トラフなどを考えられる方が多くいらっしゃるでしょうし、この対策を進めるのは当然のことです。ところで、**武庫川という川についてどんな印象をお持ちですか。**多くの方は、「地元で愛着もあるけれど、全国的にはそんなに有名ではないし普通の川」くらいのイメージではないでしょうか。

しかし武庫川には、全国でもベスト10入りする“数字”が1つあるのです。それは、ゲリラ豪雨や台風による**氾濫時に被害を受ける流域の人口と資産！ 100万人以上の人口、その一般財産額は16兆円以上！**

グラフでわかる通り、人口集中地域、発展した都市部を流域に多く抱える武庫川は氾濫したとき甚大な被害をもたらすのです。昨今は**防災事業にも費用対効果が求められる時代ですが、武庫川氾濫を防ぐ事業が命と財産を守る効果は絶大**なはず。私は「治水」のみならず六甲山系の「治山」事業もトータルで進めることが、地域のみならず兵庫県民全体の安全・安心のため重要だと考えます。むしろ、これは県政でなければ難しい事業です。



兵庫県 Web サイトより引用。

教育

安倍政権が進めようとしている肝いりの政策というと経済政策、アベノミクスの部分ばかりクローズアップされがちです。しかし、実際は教育政策、たとえば**徳育(心の教育)の推進や、現代日本の置かれている国際環境、特に領土問題への理解などを深めていくことも安倍総理のリーダーシップの下で着実に進められております。**

ただ、安倍総理が号令を掛け、実際に文科省から徳育についても領土問題についても全国へ指示が飛んでいるにも拘わらず、現場には十分行き渡っていない感もあります。以前のがんばるレポートでもお伝えしましたが、**日本の東西南北の国境をただしく理解している生徒がわずか2%などという状況**があり、西宮市教育委員会を見ても改善の努力がなかなか見られないなどの現状があるわけです。

これはつまり、**文科省→県教委→教育事務所→市教委→学校……**という長い長い意思の経路が情報化社会などの**変化についていけない**ためではないでしょうか。市政も県政も、そして国政も緊密に連携をとって各機関の意思疎通をスムーズにする手助けが要ります。文科省から「遠い」教育現場までの流れをしっかりと繋ぐには、**間に入る県教委の役割、それと連携する県政の役割がきわめて重要**になってくるのです。

南北



西宮市の南北格差問題、南北交通整備の遅れは日頃から指摘されつつ、なかなか前に進みません。「北部がよくなれば西宮市がよくなる」の理念をベースに、市政だけでなく**県政レベルで取り組む必要**があります。

インフルエンザのワクチンですら多くの人が近隣市の医療機関に頼っている状況などがあり、**北部地域の生活圏に即した実効性のある政策を進めていくためには市境にこだわらずに政策を進められる県政の視点**がどうしても必要です。今でも西宮市北部地域の事業は県主導で進められているものが数多くあります。これを上滑りのものにせず、**実際の生活者の声や視点を活かしたものとしていくには、やはり県政に北部地域出身者の代表が必要**ではないでしょうか。

西宮市は兵庫県でも3番目の人口を誇る「中核市」であり、経済的にも発展した阪神間の要所。ですから**西宮市から生まれる県民税の額も県財政の中で相当の割合を占める**わけですが、その全額が西宮市のために使われるわけではない(当然ですが)。だからこそ、税金の使途が適切であるのかを厳しくチェックする重要性がより高くなっています。

まして今は、来年度予算審査を控えた重要時期。**県財政は経常**

収支比率(人件費など、毎年の予算で基本動かせない支出の比率)が97.3%の危険水域! ここで必要なのは、スポーツに喩えるなら「将来性に期待する若手新人」ではなく、「すぐ試合(=議会の予算チェック)に出られる、働き盛りの即戦力」でしょう。



財政

平成25年にあなたの支払った**県税一万円はこの様に使われました。**

教育費	2240 円	警察費	640 円
商工費	1590 円	農林水産費	360 円
公債費	1450 円	衛生費	290 円
民生費	1330 円	労働費	80 円
総務費	1060 円	災害復旧費	30 円
土木費	920 円	議会費	10 円

いま「身を切る改革」として議員定数削減もさげられますが、**低投票率で削減すると今以上に「組織票の候補」だらけになって民意がゆがみます。だから! 老若男女とわず、選挙があればいきましょう! そうすれば安心して削減できます。**



吉岡 政和